

海外研修報告書

総合文化研究科 地域文化研究専攻
西岡みなみ (アメリカ合衆国)

「卓越した大学院拠点形成支援補助金経費」の支援を受け、2014年2月23日から3月23日にわたって、アメリカ合衆国で資料調査を行ったので、その成果を報告致します。

本研究の目的は 19 世紀のアンテベラム期における北部会衆派聖職者レオナード・ベーコン(Leonard Bacon)の人種観を描き出すことです。当時先住民に対し宣教師を派遣していたアメリカン・ボード(American Board of Commissioners for Foreign Missions)は、1840年代に先住民が奴隷制を取り入れていることや、奴隷所有者を教会に迎え入れることを巡り激しい議論を展開しました。今回の調査ではベーコンやアメリカン・ボードの諮問委員、宣教師、奴隷制廃止論者がこの問題について、どのような主張をしたかを中心に、関連する手紙や新聞、二次資料の収集を行いました。

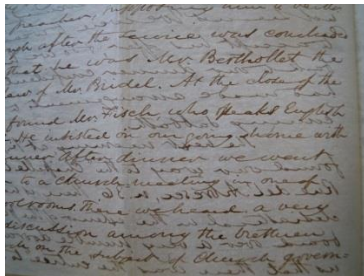
まず、2月24日から25日にかけて、ボストンの Congregational Christian Historical Society の Congregational Library という会衆派の図書館でアメリカン・ボードの宣教師と諮問委員会の手紙を収めた ABCFM Papers というマイクロフィルムを閲覧、収集しました。

その後ニューヘヴンに移動し、2月26日から28日にイェール大学の Sterling Library で Bacon Family Papers に収められたベーコンと彼の家族間の手紙を収集しました。マイクロフィルム化されていなかったため、デジタルカメラで撮影をしました。

3月1日から5日まではニューヨークに滞在し、ニューヨーク公共図書館で Bacon の手紙を閲覧し、3月6日から9日まではハートフォードに滞在し、Connecticut Historical Society で Terry and Bacon Family Papers の中のベーコンの手紙を写真に収めました。

最後にボストンに戻り、ハーバード大学の Houghton Library と Lamont Library で ABCFM Papers を収集しました。先に訪問した Congregational Library と比較して、Houghton Library にはマイクロフィルムのガイドが豊富にあり、資料の収集が効率的に進みました。他にもベーコンが編集を務めた *Independent* などの雑誌資料を集めることもできました。3月21日にはボストン公共図書館に行き、ベーコンと奴隷制廃止論者であるアモス・フェルプス(Amos A. Phelps)間の手紙を写真に収めました。

今回一か月間滞在したのにもかかわらず、ABCFM Papers に関する資料が膨大であったため、全てを十分に収集することはできませんでした。しかし、ABCFM Papers がどこに、どのように保存されているのかが分かった点で非常に有益な調査となりました。このような機会を与えて下さった「卓越した大学院拠点形成支援補助金経費」の関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。



左：イェール大学 Sterling Library
Manuscripts and Archives Room

右：収集したベーコンの手紙の一部